

神戸中学校だより

目指す学校像:『明日も行きたい・明日も通わせたい・明日も協力したい学校』

R8全国学力学習状況調査の結果について

4月23日(木)に、3年生が実施しました国語、数学、英語(「読む」「書く」「聞く」)および、4月28日(火)に実施しました英語(「話す」)の「全国学力・学習状況調査」の結果および成果と課題、今後の取組についてお知らせします。なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定部分であり、学校における教育活動の一側面であることを考慮しつつ、ご家庭でのご協力のもと、今後、子どもたちの学力向上等への取組に活かしてまいります。

	ほん 本 校	ぜん 国 比	けん 県 比	し 市 比
こく 国 語	61.0	-2.9	-1.0	+1.0
すう 数 学	57.0	±0.0	+1.0	+5.0
えい 英 語	482	-17.0	-10.0	+1.0

※英語はIRTスコア。平均IRTスコアとは、500を基準とし、正答数及び正答した問題の難易度等から学力を推定した数値。

【各教科の成果と課題】 ○…成果 ●…課題

【全教科共通】

●無解答率がほぼすべての教科、問題において全国比、県比より高い。

【国語】

○「文章の『よい点や改善点』と『今後生かしたいこと』を、交流をもとにして記述する。」問題 [3] [4] で全国より7.3ポイント上回った。書かれていることを参考にして記述する力が身についてきている。授業で互いに推敲し合う機会を設けたこともよい結果につながったと考える。

○質問紙調査で「国語の学習活動」「学びの自己調整」に関する質問の肯定的解答が全国を上回る結果となった。

- 具体的な記述を抽象的（概念的）に表現された内容と結びつけることが苦手である。
質問紙調査で「解答時間が足りなかった」と答えた生徒が全国と比べて11.7ポイントも多く、本文を照らし合わせることをしていない可能性も考えられる。
- “読む体力”がないためか、後半の問題ほど無解答率が高い。

【数 学】

- 県平均を上回り、全国平均と同じであった。その要因として3年間の習熟度別少人数授業の効果と考える
- 例年、関数の分野は全国と比べて正答率が大幅に低い傾向があったが、今回は上回ることができた。
- 図形の領域に関する問題では4問中3問が全国と比べ正答率が5ポイント以上、下回った。 $[2]、[8](2) \cdot (3)]$

【英 語】

- 「書くこと」の領域の「記述式問題」で4問中3問が全国と比べ正答率が5ポイント以上、下回った。
- 自分の考えの理由を書いたり、話したりすることに課題が見られた。
- 「話すこと」の平均正答率は全国を大きく下回っている。（解答方式に課題も…。）
- 質問紙調査で「英語の学習活動」に関する質問の肯定的な解答が県、全国と比べて5ポイント以上、下回った

【今後の取組について】

【国 語】

- ◇ 定期テストや「よむ・YOMU ワークシート」等、問題文で求められていることの確認を行い、適切な表現で答えを書けるよう指導していく。
- ◇ 推敲し合うなど言語活動を取り入れた授業を実践していく。

【数 学】

- ◇ 図形分野ではデジタル教科書等を活用した授業実践をしている。
- ◇ 式、計算、答え、だけでなくその式をたてた根拠を説明する等、言語活動を意識した授業を実践していく。

【英 語】

- ◇ 英語を使っの生徒同士の言語活動や聞いたり読んだりしたことを英語で書いてまとめたり、自分の考えを英語で書く活動等を取り入れた授業改善を行う。

【全教科を通して】

- ◇ 全教科を通じて、言語活動を意識した授業実践を行っていく
- ◇ 全教科を通じて、「結論」→「理由および根拠」というように話す指導をしていく。

1. 学校生活等

- 学校へ行くのは楽しいと思いますか。【87.1% 全国比 +1.7】
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いませんか。【95.4% 全国比 +0.3】
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。【83.4% 全国比 +4.8】
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。【75.7% 全国比 +3.4】
- 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。【89.9% 全国比 -1.0】
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。【71.6% 全国比 -0.3】
- 将来の夢や目標をもっていますか。【64.7% 全国比 -2.9】
- 友達関係に満足していますか。【88.0% 全国比 -3.2】

2. 家庭学習 ※1時間以上の解答割合

- 学校の授業以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）【58.7% 全国比 -2.9】
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）【39.0% 全国比 -13.5】
- 普段（月～金）、1日どれくらいの時間、SNSや動画視聴しますか。※2時間以上の解答割合【79.3% 全国比 +4.4】

3. 今求められる力

	質問項目	本校	全国比
主体的な学び	授業では、課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいた	79.8	+1.0
対話的な学び	学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりすることができている	86.7	-0.3
深い学び	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う	72.9	-5.1
個別最適な学び	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	80.2	+1.3
協働的な学び	授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	91.8	-0.6
学びのアウトプット	授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	72.1	+1.3

4. 非認知能力 ※上段:肯定的解答の割合 下段:否定的回答の割合

	質問項目	本校	全国
やりぬく力	わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか	81.2 18.8	78.2 21.3
自制心	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	78.0 20.2	77.8 21.2
自己肯定感	自分にはよいところがあると思う	81.6 17.9	84.0 15.8
社会性	人が困っている時は、進んで助けている	87.7 11.1	90.8 8.6

□家庭学習については、今後の検討課題である。授業と連動した宿題の内容等、検討課題である。また、家庭、地域と協力して進めていく。

□「今求められる力」については、“深い学び”が全国平均を5ポイント以上下回っている。全教科で教科横断的に既習事項を活用して取り組む課題づくりに取り組んでいく。

□「非認知能力」については自己肯定感、社会性がよくなかった。今後は、さらに、肯定的な言葉がけや授業、学校行事を通して協働的な活動を多く経験させていきたい。

R 8 第 1 回 み え ス タ デ ィ チ ェ ッ ク の 結 果

みえスタ	国語	数学	理科
1年生	【県比：－3.6】	【県比：－6.9】	【県比：－5.5】
2年生	【県比：－0.9】	【県比：＋1.2】	【県比：＋0.1】

【1年国語】

○目的に感じ、文章と図形を結び付けて必要な情報を見つける問題では、県よりも9.3ポイント上回り、条件を踏まえながら書く力がある。

●後半になるほど無解答率が高くなり、高いものでは49.1ポイントであった。最後まで集中することの難しさがある。

【2年国語】

○条件に従って、書く力がある。(＋11.3)

●語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う問題では県より7.3ポイント下回った。このことから語彙が少なく、漢字の意味から推測することに弱みがある。

【1年数学】

○関数分野で、数量が変わっても割合が変わらないという問題で、県を上回った。

●「図形」分野の問題の正答率が県を下回ることが多かった。

【2年数学】

○「データの活用」の分野の問題は、県を7.4ポイント上回った。

●「図形」分野の問題の正答率が県を2.1ポイント下回った。